



エコ(ECO) ☆ビジョンすさき 須崎市地球温暖化対策 実行計画



【区域施策編】

概要版

地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出抑制を進めるためには、地域の特徴や課題を踏まえた、地域の主体的な取組が重要です。

須崎市では市民・事業者・行政が一丸となり温室効果ガスの排出抑制施策に取り組み、2013年度と比べて2021年度までに10%、2030年度までに25%、2050年度までに80%削減することを目指します。

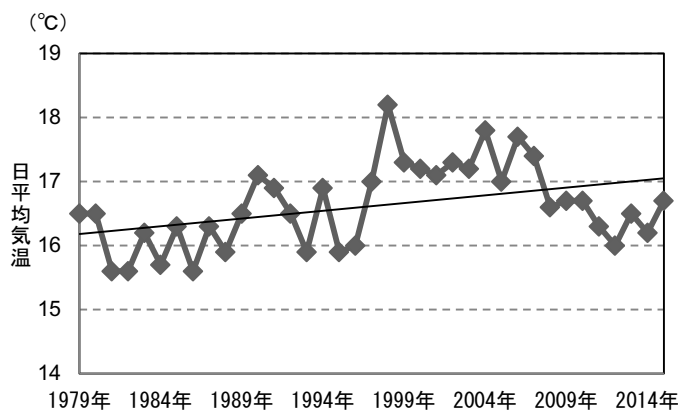


須崎市が地球温暖化対策に取り組む背景や意義

地球温暖化による影響は世界各地で顕在化しており、その解決が求められています。市民・事業者・行政が一丸となって温室効果ガス排出量の削減に取り組むとともに、再生可能エネルギー導入や地域のエネルギーマネジメント等を推進します。

地球温暖化による影響の顕在化

- 世界各地で地球温暖化による影響が顕在しつつあります。本市も日平均気温が上昇傾向にあり、高知県全体でも熱帯夜や猛暑日の増加、冬日の減少傾向にあり、漁業への影響等が懸念されています。



本市の日平均気温の推移（℃）

地方自治体が果たす役割の重要性の増加

- 本市は産業部門から全排出量の60%以上が排出されています。また、家庭や事業所・商店などからの温室効果ガス排出量は増加傾向にあります。
- 家庭や学校、事業者にもっと近い立場にある本市が果たす役割の重要性が増しています。



須崎湾

地域の効率的なエネルギーマネジメントに向けた取組

- 公共施設での高効率設備の導入や地域のエネルギーマネジメントを率先して行い、地域を牽引していきます。
- 本市において利用可能量が豊富な木質バイオマス等の再生可能エネルギーによる地域熱供給など先進的な取組を検討、推進します。

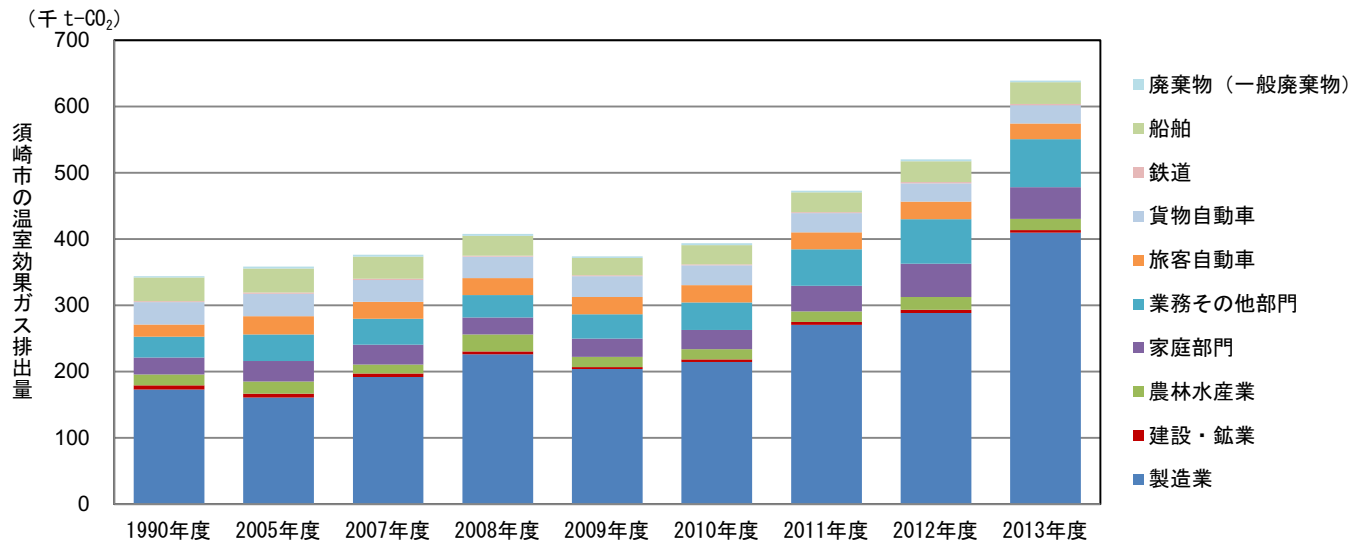


豊富な森林を有する（蟠蛇ヶ森）

須崎市から排出される温室効果ガスの状況

- 2013 年度（平成 25 年度）の温室効果ガス排出量（二酸化炭素（CO₂））は 1990 年度から約 86%増加
- 2013 年度（平成 25 年度）では排出量全体の 60%以上が産業部門から排出
- 家庭部門・業務その他部門の排出量は大幅に増加

※：本計画では市域内で人為的に排出されているエネルギー起源 CO₂ 及び一般廃棄物由来 CO₂ を対象としています。



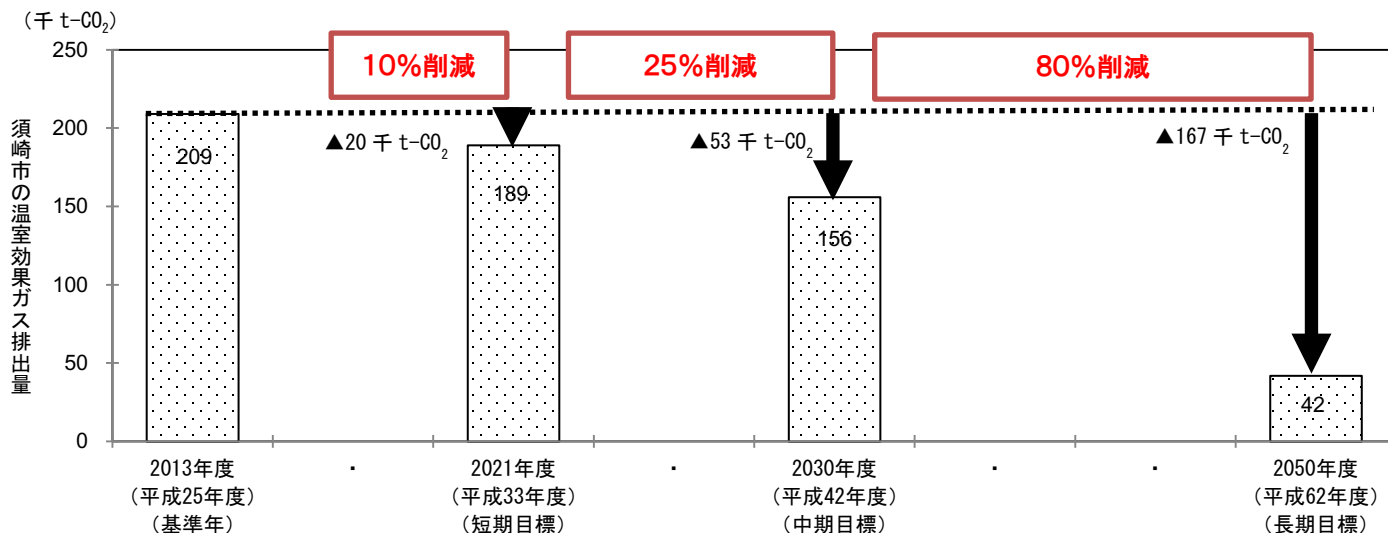
須崎市の温室効果ガス削減目標

削減目標の対象は市民生活や地域活動に最も身近な基礎自治体としての役割を踏まえ、家庭部門・業務その他部門・運輸部門（自動車・鉄道・船舶）のエネルギー起源 CO₂ 及び一般廃棄物由来 CO₂ とします。

【温室効果ガス削減目標】
家庭部門・業務その他部門・運輸部門（自動車・鉄道・船舶）・廃棄物（一般廃棄物）
<基準年：2013 年度（平成 25 年度）>

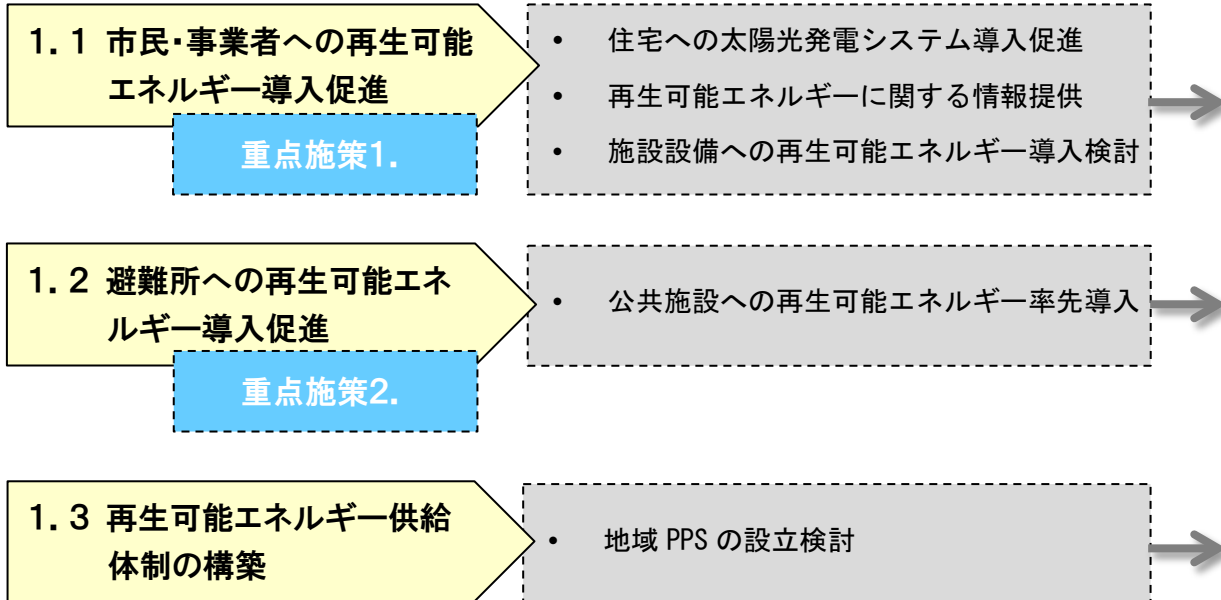
【短期目標】（2021 年度（平成 33 年度））： 10%削減
【中期目標】（2030 年度（平成 42 年度））： 25%削減
【長期目標】（2050 年度（平成 62 年度））： 80%削減

※：産業部門は各企業がグローバルな視点で、地域を限定せず、より削減効果の高い製造拠点での生産を実施するなど、企業全体での温室効果ガスの削減に取り組んでいる状況です。そのため「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」や本市との連携などに基づき、業種に応じた排出原単位での排出削減に取り組み、産業部門のトップランナーを目指すこととします。



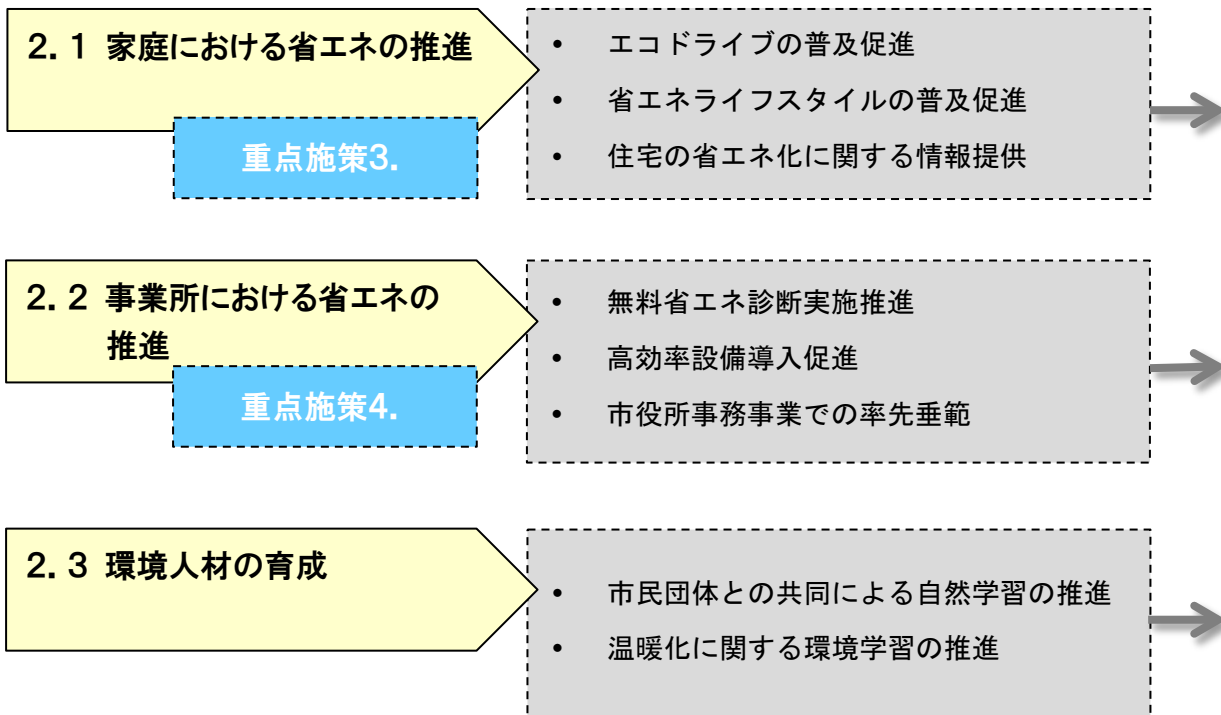
目標達成に向けた各主体の役割

基本方針 1：再生可能エネルギーの最大限の導入



【将来像①】
災害に強いエネルギー自立型のまち

基本方針 2：市民・事業者の省エネルギー活動の推進



【将来像②】
省エネを楽しみながら快適に暮らせるまち

基本方針3：環境配慮型都市の構築の推進

3.1 徒歩・自転車・公共交通の利用促進

- 公共交通サービスの維持
- 徒歩、自転車での通勤、通学の推進

3.2 都市機能の適正化

- 都市機能の集積
- 施設設備の誘導

3.3 地域のエネルギー マネジメントの推進

重点施策5.

- 地域熱供給の検討
- 公共施設へのエネルギーマネジメントシステムの導入

3.4 森林吸収源対策の推進

- 間伐の推進
- 人材育成の推進

【将来像③】

歩いて暮らせる健康で環境にやさしいまち

基本方針4：廃棄物排出抑制、再使用、再生利用の推進

4.1 家庭や事業所での廃棄物 抑制、リサイクルの推進

- ごみ分別の徹底推進
- マイバッグ使用の普及推進
- 家庭での生ごみ処理の推進

4.2 施設園芸における廃棄物 排出抑制

重点施策6.

- 施設園芸廃棄物の抑制、リサイクルの推進
- 養液栽培での循環型栽培システムの導入
- 培地の有効活用の推進

【将来像④】

無駄の少ない資源循環のまち

基本方針5：他自治体との協調・連携の推進

5.1 他自治体との知見の共有

- 友好都市との知見共有の推進
- 県内他自治体との知見共有の推進

5.2 他自治体との共同エネルギー事業の検討

- 他自治体とのエネルギー提携の検討

【将来像⑤】

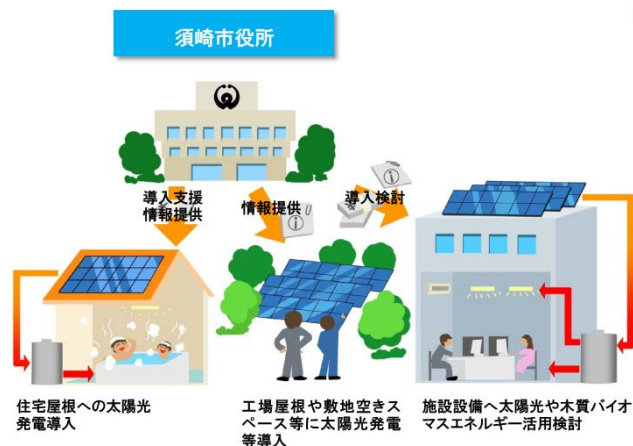
国内のつながりの
中心となるまち

重点施策

重点施策1.

市民・事業者への再生可能エネルギー導入促進

本市において利用可能性が豊富な太陽光発電システムや木質バイオマスによる発電や熱利用の導入を促進します。住宅用太陽光発電設置費用に対する補助金支援や民間事業者への再生可能エネルギー導入に関する情報提供等を行い、取組を促進します。



重点施策2.

避難所への再生可能エネルギー導入促進

南海トラフ巨大地震等の災害に備え、避難所に自立分散型の再生可能エネルギーや蓄電池、蓄電機能を併せ持つ電気自動車の導入を推進し、災害時の非常用電源としても活用を検討します。



重点施策3.

家庭における省エネの推進

エコドライブの実施や省エネライフスタイルの定着、高断熱住宅の建設などを推進します。また、これらに関するイベント等を開催し、普及啓発を進めます。



重点施策4. 事業所における省エネの推進

事業所での無料省エネ診断の活用推進、及び LED 照明、高効率空調設備等の高効率設備の導入に関する国や県、関連団体等の助成等の情報提供などを行うことで、事業所における省エネを推進します。

また、市役所事務事業でも率先して高効率設備を導入し、得られたノウハウ等を区域の事業者等に広く普及することに努めます。



重点施策5. 地域のエネルギーマネジメントの推進

木質バイオマス等の再生可能エネルギーによる地域熱供給やエネルギーマネジメントシステム導入による複数施設のエネルギー需要・供給等の管理を推進します。

また、公共施設へのエネルギーマネジメントシステムを率先して導入し、得られたノウハウ等を区域の事業者等に広く普及することに努めます。



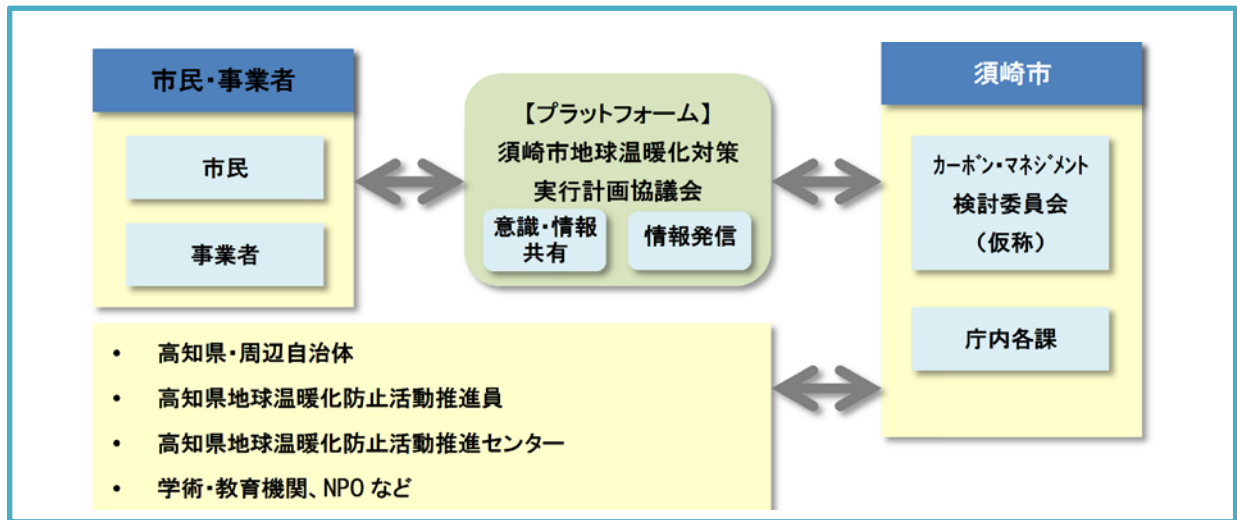
重点施策6. 施設園芸における廃棄物排出抑制

本市の主要作物であるミョウガの施設園芸で発生するハウス等のビニール類や肥料である養液、ミョウガの培地等の廃棄物の減量化や再利用化を検討し、推進します。



実効性のある計画とするために

本計画は「須崎市地球温暖化対策実行計画協議会」をはじめ、市民・事業者のみなさまとともに進めます。



わたしたちにできること

わたしたちにできること	
省エネ	炊飯器の保温をやめる。
	ガスコンロの炎をなべ底からはみ出さないように調節する。
	冷蔵庫にもものを詰め込みすぎず、壁から適切な間隔で設置する。
	シャワーの利用時間を1日1分短くする。
	風呂の残り湯を洗濯に使いまわす。
	入浴は間隔をあけずに行う。
	使わないときは温水洗浄便座のフタを閉める。
	テレビを見ないときは消す。
	主電源をこまめに切って待機電力を節約する。
	冷暖房の温度をそれぞれ28℃、20℃に設定する。
消費	マイバッグを持ち歩く。
	包装の少ないものを選ぶ。
	洗剤などは中身の詰め替えができるものを選ぶ。
	繰り返し使えるリターナブル瓶を使う。
	エネルギー効率の良い家電製品や燃費の良い車を選ぶ。
	リサイクル商品を購入する。
自動車	公共交通の利用をする。
	タイヤの空気圧不足を適正に調整する。
	不要な荷物をおろす。
	アイドリングストップをする。